

# JOUEN

冬号1  
Vol.1

2017 1月  
January

伝燈院赤坂浄苑

赤坂浄苑 季刊誌 冬号からはじまります！  
皆様をもっと身近に、近くに感じ  
元気に生きていただくための、JOUEN です

平成二十九年一月二日発行



つのだ とくみょう  
角田 徳明 住職  
新年のご挨拶

購入した理由や趣味の広がり  
ご契約者様インタビュー

## 赤坂法話

チャレンジ！趣味広場  
後の世代に伝える 正しいお参り

葬儀の作法

健康特集

赤坂「素敵な寄り道」  
赤坂浄苑を支える人々

偉人の遺言

伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介

伝燈院 赤坂浄苑

はせがわ × カリモク家具  
つなぎます。心と、いのちと、人。

## 共同開発のリビングルーム仏壇 SOLID BOARD JUST

いつもそばに。リビングで過ごす、大切な「あの人」との時間。

リビングは生活の中心となる空間。食事をして、家族や友人と語らう、大切な部屋。

そんな場所だからこそ、これからもずっと故人といっしょに過ごしたい。

SOLID BOARD JUST は、そんなお客様の声から生まれた祈りのインテリアです。





冬号1  
Vol.1

赤坂浄苑 季刊誌 冬号からはじまります！  
皆様をもっと身近に、近くに感じ  
元気に生きていただくための、JOUENです

CONTENTS

## 01 伝燈院赤坂浄苑

つのだ とくみょう  
角田 徳明 住職 新年のご挨拶

改歳の辰(しん)を迎え謹んで  
新春のご挨拶を申し上げます

JANUARY 2017



## 02 【特集】 購入した理由や趣味の広がり ご契約者様インタビュー

ここで発見 毎日を元気に生きる

西牧 千重子さん

## 04 赤坂法話

つのだ けんりゅう  
角田賢隆 「おかげまいり」

05 チャレンジ! 趣味広場  
今からでも始められる 超初心者のためのギター教室

06 お焼香について

07 お葬式の流れ 「知って役立つ」 葬儀に関する情報

08 健康特集 風邪にも負けない食生活!

09 赤坂「素敵な寄り道」

10 赤坂浄苑を支える人々 ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

11 偉人の遺言

12 伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介

## 新年のご挨拶

伝燈院

住職

角田

徳明

改歳の辰(しん)を迎え謹んで新春のご挨拶を申し上げます  
近年お寺を取り巻く環境はめまぐるしく変わっております。  
少子化や核家族化による檀家離れが進み、地方寺院では経営難  
で苦労されているお寺様のお話をよくお聞きします。

そんな中、テレビではお坊さんのお話をする番組が高い視聴  
率を得たり、パワースポットとして寺社仏閣めぐりをする女性  
が増えるなど、現代人の宗教に対する関心が高い一面もござい  
ます。昔から寺院は檀家制度で成り立っており、檀信徒様からの寄  
進で維持運営を行ってまいりました。現代において檀家制度は  
衰退いたしました。当院においても例外ではなく皆様からの  
寄進によって成り立っております。毎年頂戴いたしております  
「護持会費」、ご法要・ご法事の際に包んでいただく「お布施」  
が主なものです。

当苑同様、室内のお墓が次々と開園し、宗教法人だけでなく市  
営の公共墓地での計画もされていると聞きます。また、総基数が  
5000、8000を超え費用を抑えた霊園も多く建立されて  
います。  
「霊園事業はビジネスか否か」とのテーマで取材を受けた際に、

私はこれからの時代は布教と運営の両方を大切にしていかなければ  
いけないとお答えしました。当苑は皆様のご先祖様をお預かり  
する場であり一過性の建物ではなく、永続性を求められる大切  
な施設です。

時代に合わせお寺のあり方も変革の時期に入っております。  
従来の寄進があつて当たり前前の考え方では通用しない時代  
でございます。当苑は他とは違う新しい寺院のあり方として「寺  
子屋」を起源とした情報発信・生涯学習、また、布教活動の本質  
である心の安らぎを得られる場であるよう様々な行事・勉強会  
を今年も行ってまいります。その中で皆様との縁を少しでも深  
めていければ幸いです。

最後に当浄苑関係者 各家 身体健全・災障消除、諸縁吉祥  
ならんことを祈念し年初の挨拶とさせていただきます。

合掌





好きな事を  
していると  
夢の中みたい！



さんに教えていく。そういう事を今もやっています。たとえば演歌の新曲が出て、結構気に入ったりする曲があると、ちょっと振付を考えていくわけです。

——考えた振付はどうやって記録していくのですか。  
絵にするんです。人の形の絵を書いて、そこへ説明書きを入れて渡すんです。

コタツに入って考えていくのですが、ついつい夜な夜な夢中になって気がつく朝になっていたりすることもあります。夢中っていう字は、夢の中って書くじゃない

赤坂浄苑 ご契約者  
西牧 千重子さん



西牧 千重子 (にしまき ちえこ)さんプロフィール  
芸名：石川 美代久重 (いしかわ みよひさえ)  
・石川流日本民謡舞踊教授・日本民謡新舞踊協会 教授  
他：狛江市邦楽連盟 副会長 狛江市文化協議会 芸能担当  
三多摩舞踊連合会 会計監査 港区民謡舞踊連盟 理事  
東京都狛江市在住 74歳

**赤** 坂浄苑のご利用者様の素顔や暮らし方をほのぼのと語っていただくこのコーナー。

第一回は、日本民謡の教授を務め、地域の文化の発展にご活躍されている西牧千重子さんにご登場いただきました。

ここで発見 毎日を 元気に生きる

赤坂の街が  
好きです！

——最初に赤坂浄苑を知ったきっかけを教えてくださいませんか。

主人が亡くなりました、お墓のことでご住職さんに相談しましたら、赤坂にこういうのがあるよって教えていただいて見学に来ました。

それでもすぐに決められなくて何箇所か、お墓や納骨堂を見てまわりました結果、こ



ですか、だから夢の中にいる感じで朝を迎えます(笑)。

先日も狛江市の市民祭りで私が振り付けた曲を約80名の皆様に踊られました。

もう、男性に教えるのは辞めました。

——お弟子さんは今、何人くらいいらっしゃいますか。

昔は50人くらいいましたけど今は、今は少なくなりました。

——教えるのは何時間くらいでしょうか。

うちは長いんです。昼の1時から5時まで最低、教えています。もちろんずっとお稽古ばかりではありません。お茶を飲みながら、いろんなお話もします。ときには嫌な事とか、家族や仕事の愚痴とか皆さんが話します。そうすると、うちに帰る時にはね、すごく元気になっていきます。きつと稽古に来ておしゃべりしながらストレスを発散しているんですね。

ちらにお世話になろうかなと思っただけです。

それに私は赤坂の街が気に入ってました。特に赤坂浄苑のある辺りが好きですね。

——お墓参りはどれくらいの頻度で来られますか。

特に決めていません。時間があるときですけどね、このところご無沙汰しちゃったんです。一か月くらい来なかったかしらね。

——今はどんなことをするのが楽しいですか。

やはり、こうして皆さんとお会いしてお話することで。そして帰りには食事に行こうとか、お買い物をしていこうとか、それが楽しいですね。

——現在も振付やお弟子さんの指導されていますか。

曲に合った振付を考えて皆

——今日は、赤坂浄苑で娘さんと待ち合わせとお聞きしましたが。

はい、赤坂浄苑で待ち合わせして一緒に父さんのお墓参りしようか、ということになりました。

待ち合わせするのもこちらがいいですね。一階にゆったり座れる椅子があって、ホテルのラウンジのような感じですね。

——和やかな雰囲気の中で進められたインタビュー。

**若** 々しく素敵なお西牧千重子さんとの語らいに取材メンバーもどんどん惹きつけられていきました。





ギターは買ったけどどう始めればいいのか？

各部の名前を知っておこう  
どんな習いごとでもそこで使う道具の名前は憶えておきたいですね。アコースティックギターも同じです。それはその名称を知らなければ弾き方を教わることもできないからです。ここでは最

ずっとやってみたいと思っていたいろいろな趣味。でもなかなかチャンスがなくてできないままになっている読者もいると思います。そこでこのコーナーではそんな皆さんが気軽に一步を踏み出せるような入門編の知識や情報を集めてみました。ぜひ素敵なチャレンジを始めてください。第一回はアコースティックギターです。

いますぐチェック!

# 超初心者のためのギター教室

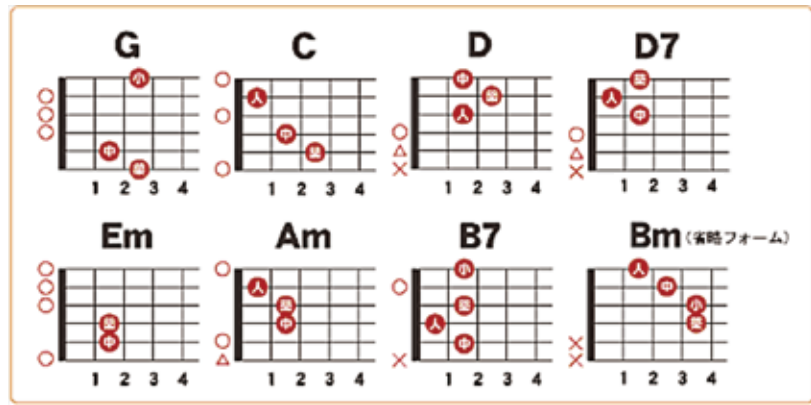
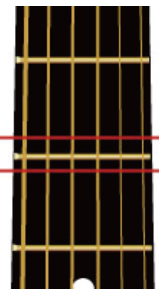
今からでも始められる

低限知っておきたい名称を3つだけ説明します。

**ネック**：弦が張られた棹（さお）の部分です。ネックの表側にフィンガーボードという板が張られ、ギターを弾く時に利き手の逆の手で弦を押さえて音程を決定します。

**フレット**：フィンガーボード（指板）に埋め込まれた金属製のパーツ。半音間隔で打たれています。

**サウンドホール**：弦振動の共鳴音がボディ内部で集中して出てくる穴の部分。この上を通る弦を利き手で弾くことで音が奏でられます。



まずはおさらいを兼ねてギターの演奏の知識を説明します。ギターはドレミの代わりにコードで演奏していきます。ギターのまったくの初心者であれば、以下のコードだけでも覚えましょう。利き手と逆の手で押さえ、利き手でサウンドホールの上を走る弦をジャンプと弾いてみましょう。それぞれのコードで音がちがうことがわかります。

# 赤坂法話

角田賢隆

「おかげまいり」



伝燈院・赤坂浄苑では毎年、年初に祈禱会 合同法要を行っております。新年の初めに「お釈迦さま」並びに諸天善神へ感謝の誠をささげ、一年の無病息災を祈願する法要でございます。私事ではございますが、昨年の11月に「伊勢神宮」にお参りしてまいりました。皆様はご存知かと思いますが「伊勢神宮」（正式名称は「神宮」）は自身の願い事をするために参拝するところではなく、「おかげまいり」と言い、日本が平安で自身が健やかにすごしていることを生命の源である太陽の神様に感謝し、お礼のためにお参りする場所でございます。この精神はその他の寺社仏閣にお参りする場面にも大切な心掛けとなります。私が師事する老師はお施主様に対し、「神仏への個人的なお願ひ事は九分九厘聞いてくれないよ」と話します。まず、大切なのは、今ご自身がここまで生きてこられたことを神仏に感謝する「おかげまいり」をしていただく

ことが基本で、そのあとの「お願い事」も自分に都合のよいお願い事ではなく、精いっぱい努力してそれでもどうしようもない一厘のお願いでないかと聞いてもらえないよと話されます。また「お願い」の仕方についても、まずご自身の努力をお伝えし、これからも精進する旨をお誓いいただくことが重要であるといえます。それが自身の力ではどうしようもない局面からあと一押し、神仏がそっと背中を押してくださる要因になるのではないかと考えます。神仏は都合のいいものではないと断言。このような気持ちをもって参拝していただければ幸いです。

合掌





# お焼香について

伝燈院 役僧 角田 賢隆 つのだ けんりゅう



仏事行事では欠かすことのできないお焼香ですが今回はその意味合いについてご説明いたします。

仏教では仏様のことを「香食身（こうじきしん）」と呼びます。香りを食べる身（身体）と書き、仏様にとつてお香の香りが一番のご供養であり、一番のご馳走だといわれております。

仏花や供物など直接仏様の世界へ届くわけではございませんが、お香の香りは瞬時にそちらの世界に届くと言われ、身心の穢れを浄化しその場を清めると考えられます。

次に作法についてですが宗門ではお焼香の回数は2回とされており、

まず初めに仏前まで赴き手を合わせて合掌礼拝を致します。次に左手の合掌はそのままだに、右手の中指、人差し指、親指の三指で抹香をつまみまです。つまんだ抹香の下に左手を添え目上にかかげ押し頂きます。（これからこのお香を仏様の為にしたむけさせて頂きます。の意）次に左手は合掌のまま右手につまんだ抹香を香炭の上へ焚きます。この1回目のお焼香を「初香（しよこう）」又は「主香（しゅこう）」と呼びます。2回目のお焼香

は左手を合掌のまま右手で抹香をつまみ今度は押しただかずそのまま焚きます。終わられたら最後にお召し上がりくださいとの意味を込めもう一度合掌礼拝し自席に戻ります。

最後に、僧侶であればご供養の際に自香（自分で持参したお香）を焚くのが基本であり、本山へ修業に上る際の必須物の一つとされています。もし皆さんがお香に興味をもたれ自分で準備した抹香を香合（こうごう）に入れ持参し、それを法要などで手向けて頂く。それはそれで望ましい本来の姿です。

以上が宗門におけるお焼香の作法となります。2回目のお焼香は押しただきませんが、「従香（じゅうこう）」追（ついで）のお香と呼ばれ最初に焚いたお香が消えないようにつけたすという意味合いしかございません。参列者がたくさんいらつしやる葬儀等で「お焼香は心をこめて1回でお願いします」と説明が入るのはこの「従香じゅうこう」の

部分を省略しているだけであって、仏様に対して失礼なことではございません。

以上細かな作法はありますが、お焼香もお線香も「香食身（こうじきしん）」である仏様にお香の香りを手向けるという意味合いを第一に考えてご供養頂ければ作法等あまり気にされなくてもよいかと思えます。

合掌



# お葬式の流れ

いざというときに慌てないで済むように葬儀について知っておきたいことを紹介する「葬儀の作法」のコーナー、第一回はお葬式の流れです。

## 事前相談

お葬式で大事なのはやっぱり事前の相談。機会があるときに信頼できるプロと相談し、料金や内容について知っておくと万が一のときに落ち着いて臨めます。そのことによつて送る側はもちろん、故人様の意向も叶えることができます。

**ご逝去**  
死亡が確認された後、悲しみの中でやるべきことは葬儀社の選定です。病院で紹介される場合もありますが、そこに必ずしも依頼する必要はありません。限られた時間の中で、可能な限り慎重に選びましょう。葬儀社についてあらかじめ決めておくといざというときに慌てないで済みま

## お迎え・ご安置

故人様を「自宅」または「安置所」までお迎えし搬送します。これを依頼するのはやはり葬儀社。このときにご安置する場所をどこにするかなども事前に決めておきたいものです。赤坂浄苑では客殿で故人様をご安置し、枕経を唱えます。

**お通夜**  
葬儀の初日となるのはお通夜です。最近では、夜の6時位から1〜2時間で行われることが多くなっています。お通夜の流れは受付開始、僧侶の入場・読経・焼香、遺族・参列者の焼香、僧侶の退席、通夜振る舞い、お礼・お開きの挨拶が一般的です。

## 葬儀・告別式

葬儀・告別式の一般的な流れは受付、僧侶入場、読経・引導、

焼香、僧侶退場、弔電、閉式の辞、お別れ、出棺です。以前は葬儀と告別式を分けて行うこともありましたが最近では、葬儀と告別式を一緒に行うケースが増えています。

**火葬**  
葬儀会場から火葬場が離れている場合、車両で移動します。遺族、親族のみが行く場合が多いですが、故人と特に親しかった方は同行します。火葬場に到着後、火葬炉前で最後のお別れをし、着火後、僧侶、喪主、遺族の順で焼香。骨上げ（拾骨）まで1〜2時間ほど控室で待機し、骨上げの後に骨箱（骨つぼ）埋葬許可証）を受け取ります。

## 初七日

初七日とは仏教の追善法要の一つ。亡くなってから七日目

に行われます。葬儀と同じ日に初七日の法要が行われることが最近は多くなっています

## 納骨式

仏式では、お墓がある場合は、四十九日や一周忌などの法要に合わせて納骨します。納骨をする時は、納骨式を行います。故人の近親者、ごく親しい友人、知人などごく内輪の人が参列します。納骨式は本堂で法要をして、その後、日を改めてお墓に向き、読経してもらうのが一般的ですが、赤坂浄苑では納骨式の当日にご親族に見守られてご納骨ができます。

## 精進落とし

僧侶や関係者を食事や飲み物でねぎらいます。お礼の気持ちを忘れずに行いましょう。







# 赤坂「素敵に寄り道」

赤坂からちょっと足を伸ばせば行ける素敵な寄り道スポットをご案内  
第一回は迎賓館赤坂離宮です。

## 迎賓館赤坂離宮



### 迎賓館赤坂離宮・前庭



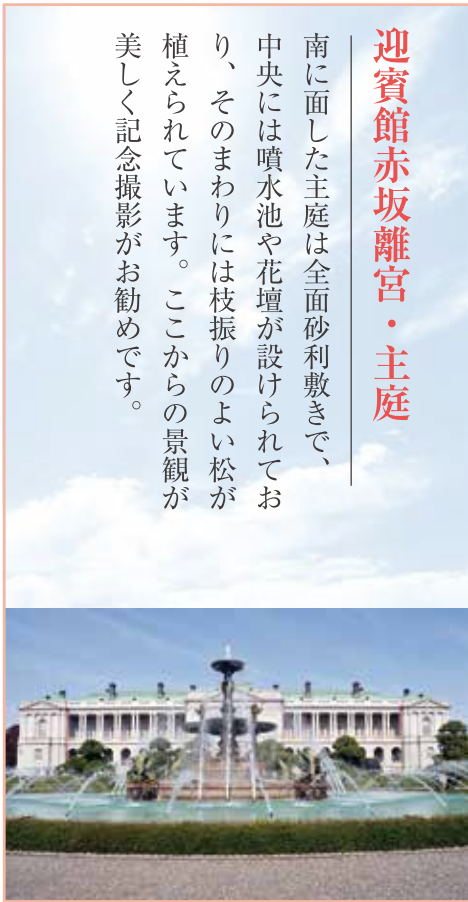
正門から迎賓館赤坂離宮・本館の外観までその両脇には庭園が広がっています。

### 迎賓館赤坂離宮・本館



正面中央にはバルコニーのついた玄関があります。緑青の屋根には日本の甲冑を象った装飾が左右対称をなし、中央部には菊の紋章が飾られています。青銅製彫刻や天球と鳳凰もあり日本らしさを垣間見ることができます。本館内部は、玄関ホールからため息がでるほど美しい造りをお楽しみください。

### 迎賓館赤坂離宮・主庭



南に面した主庭は全面砂利敷きで、中央には噴水池や花壇が設けられており、そのまわりには枝振りのよい松が植えられています。ここからの景観が美しく記念撮影がお勧めです。



JR中央線・総武線「四ツ谷」駅下車、赤坂口より徒歩約7分  
東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷」駅下車、1番出口より徒歩約7分  
東京メトロ南北線「四ツ谷」駅下車、2番出口より徒歩約7分

## 赤坂ドクター もっと教えて！ 健康的な食事に こだわっています

健康に関する知識を取り入れ  
元気な生活を！

毎日の食事から  
体づくり！

### 栄養バランスが一番の決めてでした。

私は最近体調が優れずにいました。そこで食生活を改善しようと、栄養士の方に相談しました。そこで「まごわやさしい」という食事法を教えてくださいました。まは豆、ごはごま、わはワカメ、やは野菜、さは魚、しは椎茸、いは芋、これを毎日必ず摂取すれば、バランス良く、健康的な食事が取れるということでした。試しにこの食事法を取りました。豆は毎日納豆を食べることにより、クリアして、ごまは野菜にかけたり、ご飯にかけたり、ワカメは味噌汁やサラダ、野菜はサラダや味噌汁に入れたり、魚は朝食に鮭、鯖、さんまをローテーションで食べて、椎茸は味噌汁や焼いて食べて、芋は芋サラダや味噌汁に入れることにより、全てを毎日摂取することにしました。料理も面倒な時がありましたが、健康のために毎日頑張りました。この食事法を行い始めてから、まず体重も落ち始めました。普段野菜など全く摂取しませんでしたので、便通も良くなった結果だと思いました。さらに体調面も良くなりました。良く風をひきやすい体質でしたが、全く風をひかなくなり、体も軽く、毎日楽しく過ごすことができています。食事はバランス良く食べることが大切だと理解しました。これからもこの食事法を続けていきます。



すっきり軽やかな毎日を過ごすために  
風邪にも負けない食生活！

寒い冬の到来！こんな時こそ風をひかないためにも栄養満点の食事が必要です。今回は栄養をバランス良く摂取する健康的な食生活を紹介いたします。







## ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

赤坂浄苑を支えるガンバリマンを紹介していくこのコーナー。今回は、当院で開催するセミナーで遺産相続や遺言、葬儀などについて親切丁寧なアドバイスを発信する小関 功一氏が登場しました。

ガンバリマン 1

一般社団法人  
生活発創アカデミー

小関 功一



・小関功一（1962年・東京生まれ）  
銀行（現三菱東京UFJ銀行）・外資系生保で、営業管理職を歴任。現在、(株)金融R&BMFP研修社 代表取締役として全国金融機関リテール向けマネジメント研修指導を行っている。また、(社)生活発創アカデミー 創始者として専門家相談ネットワークを編成し、相談・実務対策の支援を行っている。ファイナンシャル・プランナー歴28年。

### イベントを通じて広がる ご契約者様との繋がり

赤坂浄苑様は、お寺が参拝や法要の場所だけではなく、そこに集う人々がより豊かな時間を過ごしてもらえるよう、様々な取り組みを行っています。

私もそういった考え方に大変に共感し、何顔手伝いできないかと考えておりました。

その中で実現したのがご契約者様の皆様の相続・遺言・葬儀に関する勉強会や相談会です。

このイベントではなかなか相談する機会がない相続・遺言・葬儀について気軽に相談ができるということで多くの皆様に喜んでいただきました。またこのセミナーに参加していただくことで赤坂浄苑が目指す新しいお寺の在り方についても共感の広げることができたと思っております。

このセミナーは相続・遺言・葬儀等に留まらず、さらにそのステージを広げていきたいと考えるようになりました。

その結果、「生活発創バリュー」という実践目標を共有しながら多様な専門家との連携が生まれています。

今後は例えば、こころとカラダの専門家、インテリアと収納の専門家、建築デザインの専門家、ホテル&レストランアドバイザーなど多種多様なスペシャリストの皆様と連携し、赤坂浄苑のご契約者様とご家族様に喜んでいただける機会づくりを、赤坂浄苑様とともに考えていきたいと思っております。



## 【偉人の遺言】

「コレデオシマイ」



波瀾万丈の人生を生きた  
様々な偉人たちがいます。  
その人生の最期の言葉を  
紹介するこのコーナー、  
第一回は赤坂と縁の深い  
勝海舟を選びました。

人生を豊かに  
生きていくヒント！

幕末と維新の動乱の時  
代を生きた勝海舟

蘭学塾などを開いていた勝海舟が時代の表舞台に登場したのはペリー来航の折。海防に関する意見書の内容が的確であったため、幕府の首脳から認められ、出仕するようになります。その後、勝海舟は咸臨丸の実質的な艦長として渡米。福沢諭吉らと37日間、アメリカに滞在しました。帰国後は神戸海軍操練所を開設し、門下には坂本龍馬、陸奥宗光などを育成しました。いわば勝海舟は坂本龍馬の人生に大きな影響を与えた師匠と言えるでしょう。  
やがて倒幕運動が高まる中、ついに鳥羽伏見の戦いで徳川幕府は官軍に破れます。進軍

する官軍が江戸城総攻撃を開始する2日前に勝海舟は官軍側の西郷隆盛と会談。幕府の陸軍総裁である勝海舟は、人口150万人の江戸を戦火から守るため、無抵抗で新政府軍に明け渡すという案を打ち出します。西郷隆盛はそれを了解。  
そこで江戸無血開城が叶えられたことは多く知られていません。

最期の言葉に光る勝海舟の生きざま

明治維新後、勝海舟は旧幕臣の代表格として様々な要職を歴任、伯爵にも叙されるも短期間で辞任しています。その中で勝海舟が尽力したのは貧窮している元幕臣の救済活動。最後は徳川慶喜の名誉回復のために徳川慶喜の明治天皇謁見に奔走します。  
晩年は赤坂の氷川神社の近くで住居を構え生活していま



勝海舟 坂本龍馬の師弟像

東京都港区赤坂6丁目6番14号



# 伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介



## 1 JANUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 先負 甘酒ご奉仕	2 仏滅 餅つき・甘酒ご奉仕	3 大安 餅つき・甘酒ご奉仕	4 赤口 フラワーアレンジメント教室	5 先勝 小寒	6 友引	7 先負
8 仏滅 元日	9 大安 一日修行 戒名授与式 成人の日	10 赤口	11 先勝 フラワーアレンジメント教室	12 友引	13 先負	14 仏滅 坐禅会
15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引 フラワーアレンジメント教室	19 先負	20 仏滅 大寒	21 大安
22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負 フラワーアレンジメント教室	26 仏滅	27 大安	28 先勝
29 友引	30 先負	31 仏滅	1	2	3	4

## 2 FEBRUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1 大安 一日修行 戒名授与式 フラワーアレンジメント教室	2 赤口	3 先勝	4 友引 立春 ご契約者の集い
5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口 フラワーアレンジメント教室	9 先勝	10 友引	11 先負 建国記念の日
12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝 フラワーアレンジメント教室	16 友引	17 先負	18 雨水 仏滅
19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引 フラワーアレンジメント教室	23 先負	24 仏滅	25 大安
26 友引	27 先負	28 仏滅	1	2	3	4

## 3 MARCH

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	1 大安 フラワーアレンジメント教室	2 赤口	3 先勝 ひなまつり	4 友引
5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口 フラワーアレンジメント教室	9 先勝	10 友引	11 先負 坐禅会
12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝 フラワーアレンジメント教室	16 友引	17 先負 彼岸入り	18 仏滅
19 大安	20 赤口 春分 春分の日 中日	21 先勝	22 友引 フラワーアレンジメント教室	23 先負 彼岸明け	24 仏滅	25 大安
26 赤口	27 先勝	28 先負	29 仏滅 フラワーアレンジメント教室	30 大安	31 赤口	1

**お知らせ 募集!**

13:00~ ご契約者の集い

14:00~  
「インテリアコーディネーターと収納デザイン」  
※一般参加可  
講師 常田 江波 (ときた えなみ)  
一般社団法人 生活発創アカデミー  
生活クリエイティブ® メンター  
収納デザイン Enoc' エノア 代表  
インテリアコーディネーター



※都合により予定が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

ぜひご参加ください。今後へ向けにご意見もお寄せください。

お問い合わせ  
伝燈院赤坂浄苑 管理寺務所 TEL.0120-358-053

# 和の美しさを楽しむ 「和楽美」 わらび

天然の素材である木と土と紙が巧みに調和した日本伝統の数寄屋造り。和の心が見事に表現された調度品の数々や、季節の表現を見せる庭の風情。赤坂金龍には、ゆったりと時が流れ和の美しさを楽しむ「和楽美」があります。入り口を一步ふみ入ると、静かな和の空間が広がります。少人数からご利用いただけるテーブル席をはじめ、和個室・広間はご希望により座卓・椅子席どちらでもご用意いたします。いずれのお席もゆったりとおくつろぎいただけます。



## 赤坂金龍



〒107-0052 東京都港区赤坂3丁目17-2  
Tel:03-3583-2033 Fax:03-3583-2045  
予約: ikyu.com, tabelog.com  
●ご昼食 11:30 ~ 14:30 (ラストオーダー 14:00)  
●ご夕食 17:30 ~ 22:00 (ラストオーダー 22:00)  
土・日・祝日 17:30 ~ 22:00 (ラストオーダー 21:00)

東京メトロ 銀座線・丸ノ内線 「赤坂見附駅」より3分  
東京メトロ 千代田線 「赤坂駅」より5分

赤坂金龍 検索